

# 根は生薬、花は観光に、 シャクヤクガーデンで地域を活性化 ～ 栃原柿の里地域づくり協議会～（下市町）

## 「シャクヤクの花」を新たな観光資源に

下市町栃原地区は柿や梅の栽培が盛んな地域ですが、人口減少や生産者の高齢化、担い手不足などの課題もあり、地域の存続と活性化に向けて、様々な取組を行っています。そのひとつが、「シャクヤクガーデン」の開催です。

シャクヤクの「根」は生薬の原料となるため、地元企業が栽培に取り組んでいましたが、根の成育に必要な「花」の摘み取り作業を観光に活かせないかと考え、平成31年に地域住民、地元企業、行政等で組織する「栃原柿の里地域づくり協議会」を立ち上げ、花の摘み取り体験ができる「シャクヤクガーデン」の開催に至りました。



栃原柿の里地域づくり協議会のみなさん

## 「シャクヤクガーデン」から広がる都市住民との交流

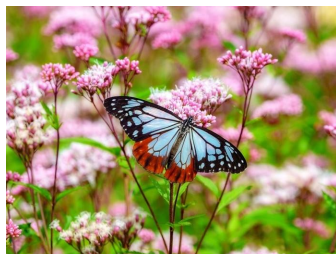
近年は、「シャクヤクガーデン」の開催だけでなく、アサギマダラの鑑賞会や地域づくり交流イベントを開催するなど、更に都市住民との交流を深めています。

### 「シャクヤクガーデン」の開催

2ヘクタールの畑に植えられた約2万本のシャクヤクの花は圧巻で、5月初旬から約2週間開催される「シャクヤクガーデン」には多くの人々が訪れます。見るだけでなく、花を摘み取ることができる体験が好評で、毎年約3,000人が訪れる新たな観光資源となっています。

### 地域づくり交流イベントの開催

地区の住民で運営する農産物直売所「栃原道しるべ」では、地元産の柿や梅のほか、加工品などを販売しており、直売所のイベントに合わせて都市住民との交流を図っています。



### アサギマダラの鑑賞会

季節に応じて各地を移動する「アサギマダラ」の寄り所になるよう、アサギマダラが好む「フジバカマ」をシャクヤクガーデンの周囲に植え、毎年11月にアサギマダラの鑑賞会を開催しています。令和7年には120人が参加しました。

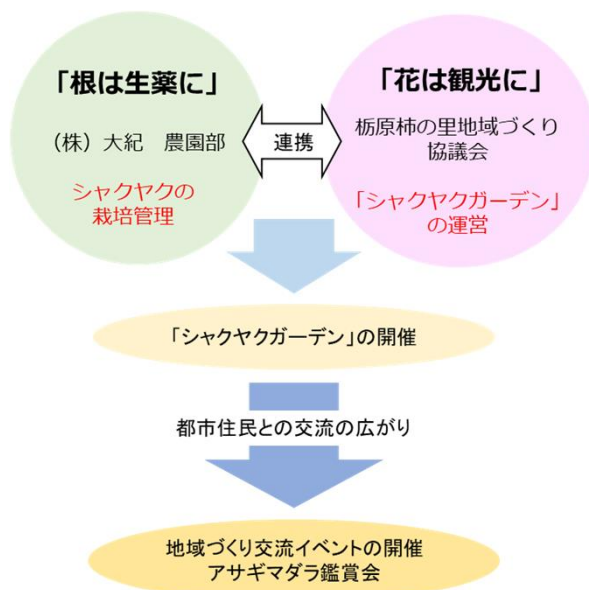
←アサギマダラとフジバカマ

## 観光の拠点となるよう取組を続けていきたい

「シャクヤクガーデン」の開催が新たな取組に広がり、地域外から栃原地区を訪れる人が増えて地域の活性化に繋がっています。

今後も、地域住民や地元企業、関係団体が協力し合って、観光地としてより多くの人に楽しんでもらえるよう、地域資源を活かした取組を続けていくこととしています。

【問合せ先】 株式会社 大紀 農園部 TEL 0747-53-0015



一面に咲くシャクヤクの花